

音 × AI のスペシャリスト

人工知能を活用して音を可視化する

【補足説明資料】ワークスアイディ株式会社との業務提携に関するお知らせ

2026年1月9日

- ・ H m c o m m 株式会社について
- ・ 提携事業の内容
- ・ 免責事項



会社名 H m c o m m株式会社（エイチエムコム）

上場市場 東京証券取引所グロース市場（証券コード：265A）

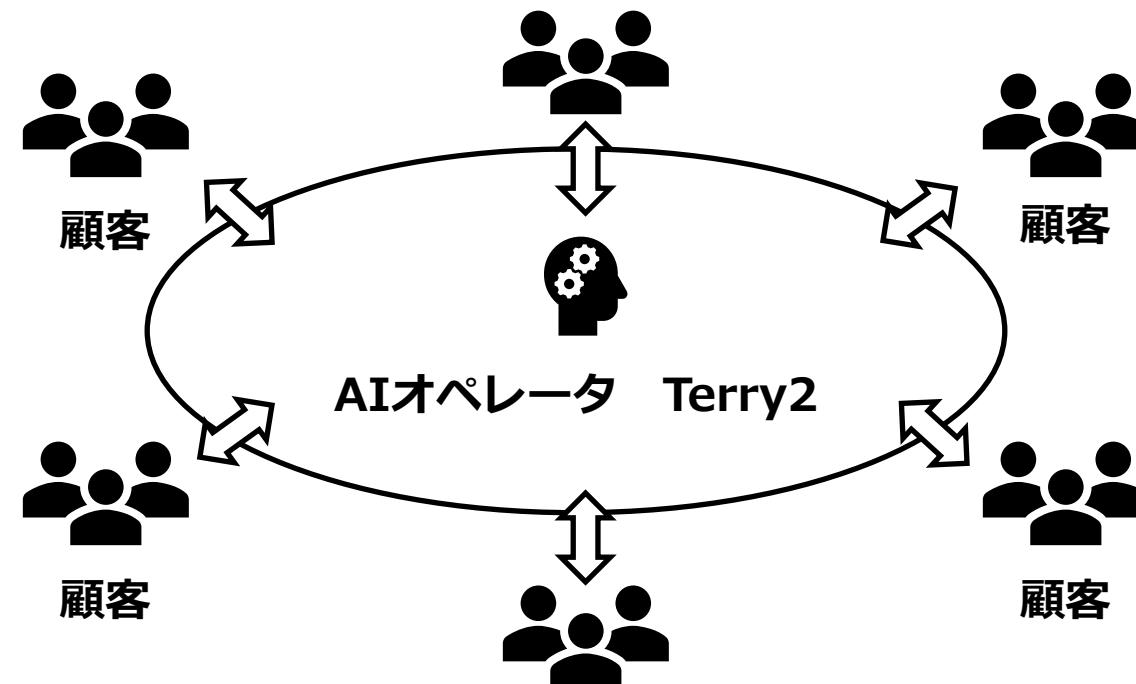
設立 2012年07月24日

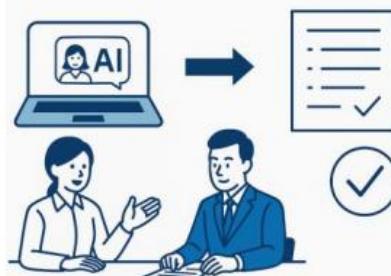
代表者 代表取締役社長CEO 三本 幸司

事業内容 音声認識処理、異音検知・自然言語解析処理を用いたプラットフォームの提供
情報技術（IT）、人工知能、ロボット工学などの音に関するサイバニクス事業の推進

所在地 東京都港区芝大門2-11-1 富士ビル 2階

ワークスアイディの持つ顧客基盤とHmcommの持つAIオペレータTerry2を用いた
共同販売および共同プロジェクトの組成





【特徴1: 文脈理解 × タスク遂行=実用的な生成AIエージェント】

- Terry2は、従来の定型的な応答に留まらず、会話の文脈をリアルタイムに理解し、柔軟に対応。FAQだけでなく、予約受付や支払い手続き、本人確認などのタスク実行にも対応します。
- 柔軟な会話制御は、長年コールセンター現場で培った会話分析ノウハウを活かした『VoiceContact』の設計思想をベースに構築。実業務に即したシナリオ設計により、実用性と対応精度を両立します。

※『VoiceContact』: 通話内容を分析し効率化を行うHmcomm開発のAIソリューション(詳細は後述)



【特徴2: “人の連携”が前提の AI 設計】

- AIがうまく対応できない場面でも、Terry2は即座にオペレーターに転送し、会話の中断を最小限に抑えます。ループ検出や会話停滞のリアルタイム検知により、適切なタイミングでアラートを出し、対応の遅延を防ぎます。
- 会話ログの要点を即時にまとめて提示する仕組みには、『VoiceDigest』の技術を採用しており、内容把握の時間を大幅に短縮。スムーズな会話継続と顧客満足度の維持を実現します。

※『VoiceDigest』: 音声通話ログをAIで要約する、Hmcomm開発の自動化ツール(詳細は後述)



【特徴3: 自己進化するAIエージェント】

- Terry2は、通話ログの蓄積と分析を通じて、「どんな質問が多いか」「どの応答が効果的か」といったポイントを継続的に最適化。業務効率と顧客満足度を同時に高めます。
- 通話ログの分析には、長年の運用ノウハウを活かした『VoiceContact』の技術を活用。継続的な改善サイクルの構築を可能にします。
- 担当者に依存しない、誰でも安定した対応ができる仕組みを実現します。

プレスリリース「生成AIによる対話型AIエージェント「Terry2」を正式リリース」

<https://prtimes.jp/main/html/rd/p/000000143.000033941.html>

- ・本資料は、当社の事業内容や業績等に関する情報提供を目的として作成されたものであり、有価証券の取得、売却等の投資勧誘を目的としたものではありません。投資に関する判断は、ご自身の責任にて行っていただきますようお願いいたします。
- ・本資料には、いわゆる「将来の見通し（forward-looking statements）」が含まれる場合があります。これらは、現在入手可能な情報および合理的と判断される前提に基づいて作成されたものであり、不確実性を含んでおります。実際の業績等は、記載された見通しとは大きく異なる可能性があります。
- ・なお、当社は将来の見通しに関する記述について、新たな情報や将来の事象に基づいてこれを更新または修正する義務を負うものではありません。

